

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終） 令和８年８月１４日現在

受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募	
		氏名	年齢	性別	経歴		農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名			代表者氏名又は推薦者氏名
1	応募	外間 匠 【R8. 7. 29取下げ】	37	男	新規就農認定	令和3年10月28日	農業者	耕作面積：約700坪 営農類型：施設野菜 主な作目：トマト・キュウリ・ピーマン	有 認定新規就農者	—	—	私自身、新規就農から農地の確保・整備・栽培・販売まで経験してきた立場を生かして若い世代の農業活動を応援したいと思い、応募しました。	無
2	応募	伊地知 亮二	65	男	農業の教諭として採用される 県立名護養護学校（4年勤務） 県立北部農林高校（8年勤務） 県立中部農林高校（8年勤務） 県立南部農林高校（5年勤務） 教頭に昇任 県立八重山農林高校（2年勤務） 県立北部農林高校（3年勤務） 県立中部農林高校（2年勤務） 県立農業大学校（教授として2年勤務） 県立南部農林高校（1年勤務） 県立北部農林高校（2年勤務） 退職 うるま市農業委員に任命される うるま市農業委員（2期目）に任命される	昭和59年4月1日 平成20年4月1日 令和3年3月31日 令和3年4月1日 令和6年4月1日	中立委員	—	—	—	—	令和3年に初めてうるま市農業委員として任命され現在2期目となる。担当地区が田場・赤野・宇堅に変わったが、農地利用最適化推進委員が同地区の農家であることから、様々な情報をもらうことができ、地区の抱える問題に取り組んでいる状況である。その一つにこの地域の農業振興地域は灌漑施設が整っておらず、灌水に多大な労力が必要なことから新規就農者等の参入を阻む要因になっていることがあげられる。現在、目標地図づくりに取り組んでいるところであるが農家の意見集約があまり進んでおらず、どうやって意見交換会などへ足を運んでもらうかなど課題も多い。2期を終了するにあたり、農業委員や事務局との連携もとれるようになり、来期も継続して行うことでこれらの取り残している諸課題や担い手育成・遊休農地の解消に力を注いでいきたい。	無
3	応募	平 正盛	75	男	具志川市役所 採用 合併によりうるま市役所 うるま市役所 退職 うるま市市議会議員 伊計島総合開発 代表取締役 (株)ホームセキュリティ 沖縄市立美里小学校 （プール管理員） 沖縄県立 中部農林高等学校 支援員	昭和48年4月1日 平成17年4月1日 平成22年6月30日 平成22年9月27日～ 平成26年10月 平成27年3月1日～ 令和2年3月末日 令和2年3月6日～ 令和6年3月末日 令和6年6月17日～ 令和6年10月末日 令和6年12月4日～ 令和7年3月末日	農業者	耕作面積：838㎡ 営農類型：果樹・路地野菜 主な作目：バナナ・シークワサー	無	—	—	農業の『農』と言う字は「曲」と言う字に「辰」と言うで出ています。「曲」は、畑か田と言うことで。また、「辰」とは「日々・とき」と辞典にはあり、『農』とは「耕し、作物を生産する」と辞典にあります。従って、「日々、作物を植えて育て、人間が生きていくためのせいかつの基礎」と理解します。『業』と言う字は、①「しごと」や②「事業や産業」と辞典にはあります。よって、農業とは「日々、作物を生産し、人々の生活の糧とする基礎だ」と理解し、「市の皆さんと共に農業の推進をして行きたい」との理由で、応募致します。	無
4	団体推薦	仲村 秀樹	66	男	JAおきなわ勝連支店定年退職（支店長） 中部畜産振興センター（嘱託） 中部畜産振興センター退職 JAおきなわ経営管理委員	2019年9月 2020年4月～ 2024年7月 2025年7月～現在	農業者	耕作面積： 営農類型：露地野菜・施設野菜・果樹 主な作目：にがうり・マンゴー・とうがらし	無	沖縄県農業協同組合 勝連支店	支店長 福原 淳子	仲村氏は、現在農業従事者としてマンゴー・にがうり・とうがらし等の作物を生産しております。また、JA在職中には経済事業に携わり農業に関する知識と経験が豊富であり、これまでの経験を活かして、耕作放棄地解消や若手農家育成等、今後のうるま市農業振興に貢献できるものと確信しております。以上の理由により農業委員として推薦いたします。	無
5	推薦	識名 共史	37	男	沖縄県立農業大学校入学 沖縄県立農業大学校卒業 識名農園にて親元就農 独立し就農 うるま市農業青年クラブ副会長 うるま市農業青年クラブ会長 県青年農業士 うるま市農地利用最適化推進委員 （南風原地区） 中部農業士会会長 中部農業士会副会長	平成19年4月 平成21年3月 平成21年4月 平成25年1月から現在まで 平成25年5月 平成30年5月から令和8年6月まで 平成30年9月から現在まで 令和3年4月から現在まで 令和5年5月から令和7年4月まで 令和7年4月から現在まで	農業者	耕作面積：20,000㎡ 営農類型：露地野菜 施設野菜 主要な作目：	無	—	沖縄県職員 比嘉 一草	識名氏は、うるま市農業青年クラブ役員を長年務め、会長を歴任し、組織リーダーとして組織活動を牽引され、地域農家の信頼性が高い。平成30年度に県青年農業士に認定され、新規就農者への支援や研修受入支援活動など、積極的に担い手育成活動支援に取り組まれている。また、中部農業士会会長、同副会長を歴任しており地域の担い手支援活動に尽力されている。さらに、地域農業担い手等の情報に精通しており、農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等に繋げ、農地利用最適化推進委員に貢献できると考える。	有

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終）令和8年8月14日現在

受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募	
		氏名	年齢	性別	経歴		農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名			代表者氏名又は推薦者氏名
6	応募	東江 俊光	72	男	日本電信電話公社 入社 NTT 退社 沖縄県立農業大学校入学 沖縄県立農業大学校卒業 うるま市与那城土地改良区合同事務所 入社 うるま市与那城土地改良区合同事務所 退社 うるま市桃原自治会長 就任 うるま市桃原自治会長 退任	昭和48年4月1日 平成27年3月31日 平成29年4月1日 平成30年3月7日 令和3年5月1日 令和4年7月31日 令和5年4月1日 令和8年3月31日	農業者	耕作面積：600坪 営農類型：露地野菜 果樹 主要な作目：らっきょう・大根・葉野菜・バナナ	無	—	—	サラリーマン退職後、農業大学校で技術と経営を学び、現在は葉野菜やバナナを栽培しています。 また、与那城土地改良区での支援業務を通じて、農家の皆様のご苦労や課題を深く理解しました。 これたの実戦経験と現場視点を活かし、遊休農地・耕作放棄地の解消や農家支援に取り組み、地域農業の発展に貢献したく応募いたしました。	無
7	団体推薦	仲 直輝	62	男	JAおきなわ勝連支店総合生産部会運営委員 JAおきなわ勝連支店総合生産部会部会長 JAおきなわ勝連支店 青壮年部運営委員 うるま市与勝地下ダム土地改良区総代 JAおきなわ園芸事業協議会 会長 うるま市農業委員 南風原自治会評議員 うるま市与勝地下ダム土地改良区理事 JAおきなわ与勝総合生産部会 会長 JAおきなわ園芸事業協議会 会長 JAおきなわ園芸事業協議会 副会長	平成18年4月～現在 平成23年4月～平成25年3月 平成27年3月～令和8年6月 平成27年10月～令和5年9月 平成30年4月～令和2年3月 平成30年4月～現在 令和4年7月～現在 令和6年4月～現在 令和6年5月～現在 令和6年6月～令和8年5月 令和8年6月～現在	農業者	耕作面積：2,200㎡ 営農類型：露地野菜 施設野菜 主要な作目：インゲン オクラ	有 認定農業者	うるま市与勝地下ダム土地改良区	理事長仲村 秀雄	本人は、オクラを中心に露地栽培、7棟のビニールハウスにおいても多品目の施設野菜の栽培を行っている。地域の農業関係の役員経験も豊富で、地域農業や農家情報にも精通しており、現在は認定農業者として、農地の利用集積・集約化について自ら規模拡大を実践し精力的に活動していることから担い手への農地集積や耕作放棄地の未然防止・解消等、農業委員会業務に貢献できると考えております。 当土地改良区理事、JA与勝総合生産部会会長、JA中部地区野菜生産出荷協議会会長と積極的に活動し、温厚な性格と強い責任感でリーダーとして活躍し、地域農業の振興と活性化に寄与している。周囲からも厚い信頼が寄せられていることからこの度、仲直輝氏を農業委員に推薦する。	有
8	団体推薦	国吉 千景	52	女	認定農業者として認定され就農 沖縄県中部陸農業青年クラブ員及びうるま市農業青年クラブ員 うるま市農林水産業振興戦略拠点施設整備推進協議会委員 JAおきなわ具志川支店運営委員 JAおきなわ具志川支店総代 沖縄県女性農業者 うるま市農林漁業振興促進対策協議会委員 うるま市農業委員	H22年6月～現在 H24年7月～現在 H26年2月～H28年2月 H26年9月～現在 H27年9月～現在 H29年2月～現在 H30年4月～現在	農業者	耕作面積：2,000坪 営農類型：露地野菜 施設野菜 主要な作目：ミニトマト・オクラ・ネギ	有	沖縄県農業協同組合具志川支店	支店長 安里 優	国吉氏は、就農直後から規模拡大を目指して耕作放棄地解消等に取り組み、実践を通して営農活動を展開しています。また、これまで培ってきた農産物流通の経験等を活かして若手女性就農者及び青年就農者のけん引者として活躍しており、今後も耕作放棄地解消や新規就農者育成などのうるま市農業振興に寄与することが期待できるので、今回、農業委員として推薦します。	無
9	団体推薦	和宇慶 宏	74	男	島尻中頭郡農業共済組合（定年退職） 米原区さとうきび生産部会 事務局長 沖縄県農業共済組合 理事 うるま市農業委員（2期） 沖縄県農林年金受給者連盟 理事 うるま市山羊生産組合 理事・監事 うるま市農地利用最適化推進委員 JAおきなわ具志川支店 支店運営委員	S47年8月1日～H24年3月31日 H2年10月～H30年 H24年6月1日～R6年5月31日 H24年7月1日～H30年3月31日 H26年6月1日～R4年7月31日 R5年～ R6年4月11日～現在 R7年9月	農業者	耕作面積：1,000坪 営農類型：露地野菜 畜産 主要な作目：オクラ・スイートコーン	—	沖縄県農業協同組合具志川支店	支店長 安里 優	和宇慶氏は、これまで島尻中頭郡農業共済組合および各種農業団体に従事するなど、農業に関する知識、経験を豊富に持ち、さまざまな活動の中から多くの方から信頼を得ています。 当農業協同組合で長年にわたり総代や支店運営委員を務めるなど地域の農業者を代表した活動を行っており、うるま市農業発展に寄与する人物として推薦したい。	無
10	団体推薦	金城 盛勝	59	男	就農を開始し現在も営農を行う JAおきなわ具志川支店野菜部会副会長 JAおきなわ具志川支店青壮年部部长 JAおきなわ具志川支店運営委員 JAおきなわ具志川支店総代 うるま市農業委員会委員	H4年～現在まで H19年6月～H21年6月 H19年7月～現在まで H19年9月～現在まで H27年9月～現在まで H30年4月～現在まで	農業者	耕作面積：1,630坪 営農類型：さとうきび 露地野菜 施設野菜 主な作目：セロリ・キャベツ	認定農業者	沖縄県農業協同組合具志川支店	支店長安里 優	金城氏は、これまで具志川及び勝連平敷屋地区等で営農を展開し農業を実践してきました。この間、JAでの野菜部会や青壮年部のリーダーとして活躍してきました。また、金城氏は、耕作放棄地解消後の農地利用等を経験しており、今後、若手農業者育成や農地利用集積等でこれまでの経験を活かし、うるま市農業振興に寄与されることが期待されるため、今回のうるま市農業委員会委員へ推薦します。	無

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終）令和８年８月１４日現在													
受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等		農地利用最適化推進委員への推薦又は応募
		氏名	年齢	性別	経歴	農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名	代表者氏名又は推薦者氏名			
11	団体推薦	島袋 あずさ	55	女	琉球大学病院臨時職員 日産サニー沖縄販売㈱ 老人介護施設 池田苑 島袋 清順（父の手伝い：農業）就農	平成2年10月 平成3年10月 平成12年10月 平成15年4月 令和3年11月	農業者	耕作面積：1,100坪 営農類型：露地野菜 施設野菜 果樹 主要な作目：トマト・玉ねぎ・バナナ	—	沖縄県農業協同組合 具志川支店	支店長 安里 優	島袋氏は、平成15年から父の農業を手伝い、令和3年に就農しました。現在は露地や施設でトマト、玉ねぎ、バナナを栽培するとともに、野菜部会の監査役として地域農業に貢献しています。営農経験を重ねながら積極的に知識や技術の習得に努める姿勢があり、地域農業の発展や農地利用の最適化に貢献することが期待されることから、農業委員及び農地利用最適化推進委員として適任であるため推薦します。	有
12	団体推薦	新里 えり子	52	女	沖縄県立農業大学校卒業 就農 新規就農認定 沖縄県指導農業機械士（沖縄県第64号） 沖縄県農業協同組合総代 農林水産省認定 農福連携技術支援者 うるま市農地利用最適化推進委員 沖縄県中部地区農業青年クラブ会長 沖縄県農福連携推進委員・農業委員	H30年3月7日 H30年4月 H30年9月19日 R2年2月17日 R2年9月～現在まで R2年9月24日 R3年4月～現在まで R4年4月～現在まで R4年4月～現在まで	農業者	耕作面積：7,500㎡ 営農類型：露地野菜 果樹 主要な作目：ブドウ・パイヤ・甘蔗・人参	—	沖縄県農業協同組合 具志川支店	支店長 安里 優	新里氏は平成30年に新規就農認定され、農業機械士、農福連携技術支援者として活躍しており、農業振興に関わる課題抽出と解決策を常に模索しており、農業者の目線から今後も耕作放棄地解消や新規就農者育成等、うるま市農業に寄与することが期待できますので、今回、農業委員として推薦します。	無
13	応募	大庭 真由美	60	女	私立ひかりナースリー保育園（保母） 同仁福祉会のびのび保育園（保母） 私立へしきや保育園（現かなさ保育園）（保母） 勝連町立津堅小中学校（小学校教諭） 具志川市立田場小学校（教諭） 具志川市立具志川小学校（教諭） うるま市立天願小学校（教諭） うるま市立比嘉小学校（教諭） うるま市立平安座小学校（教諭） うるま市立南原小学校（教諭） 西原町立西原東小学校（教頭） 国立大学法人琉球大学付属小学校（教頭） うるま市立津堅小中学校（校長） 西原町立西原小学校（校長） うるま市立与那城小学校（校長）	昭和61年4月～昭和62年3月31日 昭和62年4月～平成元年3月31日 平成元年4月～平成4年3月31日 平成4年4月～平成5年3月31日 平成5年4月1日～10年3月31日 平成10年4月1日～15年3月31日 平成15年4月1日～20年3月31日 平成20年4月1日～23年3月31日 平成23年4月1日～24年3月31日 平成24年4月1日～25年3月31日 平成25年4月～27年3月31日 平成27年4月～30年3月31日 平成30年4月～令和2年3月31日 令和2年4月～令和5年3月31日 令和5年4月～令和8年3月31日	中立委員	耕作面積：80坪 営農類型：露地野菜 主要な作目：とうがらし他	—	—	—	私は与那城村（町）出身であり、二市二町合併以前から教員として本市で未来人の育成に携わらせて頂いた。勤務させて頂いた地域にはその特性を活かした農産物等があり、それらを活かした教育を実践してきた。例えば津堅小中学校では、農業再生・活性化プランの一端として、小学校児童や担任と共に総合的な学習で商品開発に取り組んだり、与那城小学校では、20余年、照間区に協力頂いている「稲作体験学習」を継続発展させたりした。担任である際にも、常に栽培活動を学級経営に取り入れてきたが、それは人を育てる過程において「農育」が大切であるとの考えが基である。うるま市各地域の現存の農産物や今後可能性のある農業等を、教育経験者の立場で注視し、学び学ばさせて頂きながら、次世代の農業従事者の育成や「農育」について深化を図る役割が果たせるのではと考え応募する。	無
14	応募	宮城 幸子	76	女	竹富町立波照間小学校に採用 新川小、平敷屋小、山内小、具志川小、天願小に勤務 県立教育センター（主事） 北谷町立北谷第二小学校（教頭） 伊計小中学校（校長） 北美小学校（校長） 石垣市立宮良小学校（校長） 退職	昭和24年石垣島に生まれる 昭和47年4月1日～平成8年4月1日 平成9年～平成11年 平成12年～平成13年 平成14年～平成16年 平成17年～平成19年 平成20年～平成21年 平成22年3月31日	中立委員	—	—	—	—	私は石垣市の小さな農家で生まれ育った。米・パイン・さとうきびや野菜を育てていて、田植え、稲刈り、パインやキビの収穫作業もイヤというほど手伝われた。結婚を機にうるま市に住み、近隣の学校に勤務した。ピーグやお茶、ターイモ、ヤマイモ等ふるさとの農業とは違う作付に興味を持った。さらには勤務校での次のような体験から地域の農業（農家）と子どもたちとの関わり方の必要性を痛感した。 ①レタスとキャベツの区別がつかない子どもたち ②デイゴの木に米ができると思っている1年生 ③「沖縄に米はできない」と模擬授業で語っている大学生 ④葉タバコ農家から「教材にジャガイモを育てないでほしい」と要請されたそのどれもが学校教育の中で地域・農業・農家との関わりがあれば解決できる問題だと感じた。委員になったら学校（子どもたち）と地域の農業（農家）・行政をつなぐ役目を果たしたいと思っている。	無

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終） 令和8年8月14日現在

受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募	
		氏名	年齢	性別	経歴	農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名	代表者氏名又は推薦者氏名			
15	団体推薦	伊波 大志	42	男	JAおきなわ石川支店園芸部会野菜部 うるま市農業青年クラブ連絡協議会 JAおきなわ石川支店青壮年部部长 認定農業者 JAおきなわ石川支店運営委員 沖縄県青年農業士	平成22年～現在 平成25年～現在 平成31年～現在 平成31年～現在 令和元年～現在 令和3年～現在	農業者	耕作面積：露地1,000坪 施設1,000坪 営農類方：露地野菜 施設野菜 主要な作目：	認定農業者	沖縄県農業協同組合石川支店	支店長 伊波 直樹	伊波氏は、平成22年より就農しJAおきなわ石川支店青壮年部長、支店運営委員や青年農業士を歴任する等の活発な活動や地域の子どもの食農教育体験活動を毎年開催する等、幅広い世代の農業者から信頼も厚く人格者であり地域農業にとって欠かせない人材であります。つについては今後のうるま市の農業振興や耕作放棄地解消、新規就農者育成等、幅広い活躍に期待されることから、伊波大志氏をうるま市農業委員として強く推薦いたします。	有
16	応募	玉城 正己	68	男	郵政省 郵便局 退職 ㈱オキスイ 退職 養豚 廃業 介護パート	昭和53年4月1日 平成18年3月31日 平成18年4月1日 平成23年4月1日 平成23年4月1日 令和3年4月1日 令和4年6月1日	農業者	耕作面積：1,500坪 営農類型： 主要な作目：コーヒー	—	—	—	私は今回応募したのは次の若い農業後継者を育てていきたいと思っています。農業と携わったのは16年前で、その前は普通の事務職に勤めていました。たまたま縁がありまして養豚することになり、繁殖の方の子豚生産していましたが、豚熱コロナと飼料の高騰で養豚は続けることができなくなり廃業しました。その後は介護パートなど農業からはなれていました。しかし、養豚ある場所には近くに放置されたみかん畑があり、そこの荒地になって1500坪もどうか何人とかさくもつができないかと思っていました。昨年、コーヒーを北部で栽培している方と出会い、今年の2月からコーヒーの苗200本を植え始めました。沖縄は適しているとよい環境で育っていく条件があると思うのでうるま市山城をコーヒーの産地にして発展させたいと思っています。そのためにも農業委員になって取り組みながらコーヒーを若い子たちに伝えるため応募しました。	有
17	団体推薦	外間 匠	37	男	新規就農認定	令和3年10月28日	農業者	耕作面積：約700坪 営農類型：施設野菜 主な作目：トマト・キュウリ・ピーマン	有 認定新規就農者	沖縄県農業協同組合具志川支店	支店長 安里 優	外間氏は、令和3年10月に認定新規就農者となり、地域計画において担い手として位置づけられています。施設園芸によるトマト、きゅうり、ピーマンの栽培に意欲的に取り組んでおり、若手農業者として地域農業の発展と農地利用の最適化に貢献することが期待されることから、推薦します。	有
18	応募	安次富 尚	55	男	畜産（繁殖牛）にて就農 JAおきなわ具志川支店総代 うるま市具志川支部長就任（中部地区和牛改良組合） 農業経営改善計画認定（認定農業者） うるま市支部長就任（中部地区和牛改良組合） うるま市農業委員 中部地区和牛改良組合組合長就任 農事組合法人ゆいまーるしちやばる代表理事就任 沖縄県農業共済組合（理事）	平成19年～現在 平成29年～現在 平成30年～（6年間） 令和2年～現在 令和3年～（4年間） 令和3年～現在 令和4年～（4年間） 令和7年～現在 令和7年～現在	農業者	耕作面積：5,000坪 営農類型：畜産 母牛17頭	有 認定農業者	—	—	平成19年より農業経営に携わり、令和2年には農業経営改善計画の認定を受けました。 JA総代、沖縄県農業共済組合理事、中部地区和牛改良組合顧問等を務め、地域農業の発展に取り組んできました。 昨年（令和7年6月）は農事組合法人（堆肥製造）を設立し、畜産農家の牛フンを堆肥化して耕種農家へ還元する循環型農業を推進しています。 これまでの農業委員会2任期の経験を生かし、耕作放棄地の解消や若手農家の育成、うるま市の農業振興にさらに貢献したいと考え応募します。	無
19	応募	山城 善市	60	男	就農 中部地区和牛改良組合組合長 中部地区和牛肥育研究会会長 うるま市農業委員	平成元年 平成28年～令和4年 令和5年～	農業者	耕作面積：14,000坪 営農類型：畜産 肥育牛250頭 主な作目：肉用牛肥育	有 認定農業者	—	—	令和5年に初めてうるま市農業委員に任命され活動してきました。 以前より農業委員の役割に興味がありましたが、これまでの活動でとてもやりがいのある役職だと感じています。引き続き農業委員として、うるま市の農地を守り、農業発展に貢献していきたいと考えています。	無

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終） 令和8年8月14日現在													
受付番号	推薦・応募	被推薦者（推薦を受けた者）又は応募者（自ら応募した者）							推薦者（一般・団体推薦）		推薦理由又は応募理由等	農地利用最適化推進委員への推薦又は応募	
		氏名	年齢	性別	経歴	農業者又は中立委員の別	農業経営の状況	認定農業者又は準ずる者の該当有無	団体名	代表者氏名又は推薦者氏名			
20	応募	山口 榮勝	72	男	（旧）具志川市4Hクラブ会長 具志川市農業委員（初当選） 沖縄県青年農業士認定 JA具志川支店野菜部会会長 具志川市農業委員副会長 沖縄県指導農業士認定 JA具志川支店青壮年部初代会長 うるま市農業委員（当選）会長 中部地区農業委員会会長 JA具志川支店運営委員総代 沖縄県農業会議常設審議委員 認定農業者認定 中部地区指導士 女性農林漁業士会会長 認定農業者再認定 沖縄県農業共済組合総代 農事功労賞緑白綬有功章 功績表彰 農林大臣表彰受章 うるま市自治功労彰受章 認定農業者認定（再認定） 農業士会・名誉指導士認定 沖縄県農業会議副会長 中部地区農業委員会会長 うるま市農業委員会会長	昭和54年～55年 昭和59年～平成17年 昭和60年 平成14年～21年 平成15年～17年 平成18年 平成18年 平成18年～現在 平成18年～21年 平成18年～現在 平成18年～現在 平成18年 平成21年～23年 平成23年 平成24年～30年 平成24年 平成26年 平成27年 平成28年 令和2年 令和4年 令和5年 令和8年	農業者	耕作面積：5,000坪 営農類型：さとうきび・ 露地野菜・施設野菜 主要な作目：ナス・ゴー ヤー・セロリ	—	—	—	うるま市の農業、農地を守る活動を行いたいから	有
21	団体推薦	比嘉 正徳	63	男	兼箇段土地改良区事務局就任 うるま市より自治功労賞（永年農業委員）を受ける うるま市耕作放棄地対策協議会委員（監査委員）	2006年4月1日 2005年3月22日	農業者	耕作面積：6,877坪 営農類型：さとうきび・ その他 主要な作目：キビ	—	兼箇段土地改良区	理事長 金城 光	土地改良区は農家の経営支援を業とする交易法人である。その理念の下、比嘉正徳は農家の営農支援索（高額負担除去）として、県内唯一単独資金による太陽光発電施設建設を誘致し、その売電資金による提供農業用水単価減額に取り組んだ。又当改良区の多くが菊農家であるが、電照による栽培に欠かせない電気料金を軽減する索として、国の補助事業を活用したLED化により、電気料金を約60%から80%削減することで営農を助けた。更に東日本大震災により2次被害を受けた菊農家（生産物が津波により被害）への国の支援受給の手続きでは、農地法3条への申請を手助けし、多くの菊農家に恩恵をもたらした。昨今、当土地改良区の施設の老朽化に伴う改修工事が増加傾向にある中、突発的な漏水等に対応する県の事業を導入する等、農家及び兼箇段土地改良区に数多く、量多く貢献している。その能力を身に着けている比嘉さんには、これからもお力添えいただくと同時に、四方八方に情報を得やすくしていただくために、農業委員就任へ推薦しました。ちなみに直接当改良区には関係ないのですが、ここ十数年キビ生産にいそむばかりではなく、高齢キビ農家の要請に答えて、キビ栽培作業を請け負うばかりではなく、JA沖縄本所からのキビ農家支援作業を委託されているらしく。兼箇段土地改良区組合員のみならず、うるま市内キビ農家の作業支援する等多岐にわたり、農家を助けいている。そんな彼を是非うるま市の農業委員にしたい。	無
22	応募	島袋 愛里	37	女	中部和牛改良組合具志川支部役員 うるま市農業委員 沖縄家畜改良協会役員 女性農業士認定 うるま市肉用牛産地育成専門委員会委員	令和5年4月～ 令和6年4月～ 令和7年4月～ 令和7年9月～ 令和8年4月～	農業者	耕作面積：4,500坪 営農類型：畜産（33頭） 主要な作目：肉用牛繁殖	認定農業者	—	—	令和6年度より初めて農業委員になりました。はじめはわからないことだらけでしたが、農業委員の先輩方や事務局の皆さんからも色々教えてもらいながら活動してきました。これからも学び続けながら農地を守る活動、新規の育成等に力を入れて頑張っていきたいと思います。	有
23	応募	幸地 あられ	45	女	中部地区和牛改良組合役員（理事） 和牛改良区組合うるま支部副支部長 和牛改良組合石川支部支部長 和牛改良組合石川支部副支部長 和牛改良組合石川支部監事 うるま市肉用牛産地育成専門委員会	2019.6～2025.6 2021.6～2023.6 2021.6～2023.6 2023.6～2025.6 2025.6～現在 2026年～	農業者	耕作面積：約5,000坪 （母牛22頭・子牛15頭） 営農類型：畜産 主要な作目：肉用牛（繁殖）	認定農業者	—	—	R3～R6まで推進委員として、R6～9まで農業委員として活動する中でもっと農地や地域農業について学べることがあると感じ、市内農業関連のお力になればと思い応募します。男女共同参画推進のためにも女性として出来ることを考え、農業委員として貢献することがその1つと思いました。	有

うるま市農業委員の推薦及び応募の状況（最終）令和８年８月１４日現在

[illegible]